

2016年9月5日

各位

年次セミナー「ESG投資はどこまで普及するか」のご案内

株式会社インベスチャー 代表取締役社長 松元 勲

拝啓 残暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、本日は10月4日に開催いたします弊社年次セミナーのご案内を申し上げます。このセミナーを始めたのは、私が米国のIR事情をつぶさに見てきた経験から、日本にも米国のようにCFO、IR担当役員、IRリーダークラスの方が忌憚なく意見交換できる場を多く作ればと考えたことが契機でした。

2011年にスタートし、毎年、基調講演部分をIR部門の方が関心を持ち始めているテーマを語れる方をお願いし、バイサイドの複数の方にも投資の考え方についてお話をしています。そして、弊社のクライアントには、昨今のIR活動の中で持っている問題意識、課題解消のために取り組んでいらっしゃることを語って頂いています。また、弊社のクライアントですので、機関投資家株主作りで取り組んでいることや彼らとのコミュニケーションの深化のためにどのような実務上の工夫をなさっているかも語って頂いています。

今年のテーマはESG投資に致しました。ご存じとは思いますが、わが国の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が9月末を目途にESG指数の公募を行うなど、資産運用の世界では、ESG投資の広がりを感じさせるニュースが昨今頻繁に報道されています。

実際のところ現状においては、ESG的な考え方を無視する運用会社は殆どないものの、ESGを突き詰める会社もある一方で、ESGには拘らずに独自の投資の考え方を構築している運用会社もごございます。そうした中で、ESG投資は株式市場でどこまで普及するのだろうかというご質問を弊社はクライアントの皆様方から多く頂いておりました。

そこで、今回は基調講演を、社会的責任投資フォーラム会長の荒井勝様をお願いしてあります。荒井様は大和投信の元運用本部長取締役兼専務執行役員で日本初の国連責任投資原則（PRI）のボードメンバーを経て現在、PRI金融システム諮問グループメンバーでいらっしゃいます。2005年より世界を代表する責任投資指数FTSE4Goodの銘柄選定と基準策定の諮問委員も務め、また、英国大手年金ハーミーズの依頼により今年より日本企業とのエンゲージメントにも積極的に関わっていらっしゃいます。こうしたご経験を踏まえESG投資家の立場から感想等を踏まえたお話を頂きます。

バイサイドからの考え方の説明は、長期投資を標榜している運用会社の方をお願いしております。ひとはESGを重視した運用で定評のあるニッセイアセットマネジメントのチーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサーである井口謙二様です。井口様からは、ご自身は既に様々な場所で話をなさっているのも、むしろ企業側からESG投資やニッセイアセットの運用についてどのような疑問をもっているのか知り、セミナーの場で話したいとおっしゃって頂いております（この点について、疑問、質問がございましたら、セミナーの参加申込書と一緒にコメントを記入の上、返信をください）。

もうひとは、長期投資で有名な米国のファースト・イーグル・インベストメント・マネジメントのアナリストとして長年の日本企業の取材経験を持ち、現在は同社に助言をなさっている安治郎様です。安様は現在ご自身の会社、ヴァレックス・パートナーズでも運用業務に携わっています。安様は、長期投資の前提となるバリュー投資、企業価値、キャピタル・アロケーションという長期投資家の考え方をもっと日本企業に理解して欲しいという想いを抱いていらっしゃいます。例えばコングロマリットディスカウントをどのように乗り越えるのか等、興味深いお話が聞けるのではないのでしょうか。

クライアントからは、3社をお願いしております。まず、三井物産の真野雄司IR部長です。同社は2014年5月に発表した新中期経営計画でキャッシュフローの創出に焦点を当て、創出されるキャッシュの配分を明確にされました。また、中期経営計画のローリングの説明も毎年丁寧になさっています。これらの点は投資家に評価されているものの、グローバルな景気の停滞や内向きの諸外国の政治で顕在化するリスクで、予想外に乗り越えるべき課題を抱えていらっしゃるようにも見えます。その中で、何をより重視し活動に取り組まれようとしているのか語って下さります。

次に野村不動産ホールディングスの上羽健介広報IR部副部長です。上羽様は、昨年、長年の営業部門のキャリアから一転してIR部門のリーダーに就任しました。顧客を相手とする営業部門と、投資家を相手とするIR部門の違いを実感され、重要なステークホルダーを明確にし、信頼を得る体制作り、PDCAサイクルの構築に取り組まれています。IRという活動を客観視した場合に見えるものや、その感性を生かした取り組みについて語って下さります。

最後は電通の奥藪雅史エグゼクティブ・オフィス局長補兼IR部長です。電通は、2013年3月に英国の大手広告代理店のイービス・グループを買収し、この3年でそれまで海外事業の売り上げが全体の1割程度であったものが一気に5割前後に達し、これに伴いIR活動の在り方もグローバルスタンダードを意識せざるをえない環境にあります。滅多にわが国企業が乗り越えたことのないIR活動のグローバル化という課題をどのように乗り越えようと活動されているのか語って下さります。

セミナー後の懇親会は、例年のようにスピーカーの方々、参加者の方々にぎっくばらんに懇親して頂ける会を設けております。この懇親会での名刺交換を期に日頃、IR活動の在り方や環境について意見交換なさるクライアントも増えているようです。今年も、ふるってご参加下さりますようよろしくお願いいたします。

敬具

《セミナー概要》

【日時】2016年10月4日（火曜日）13時～（午後12時30分開場）

【場所】如水会館2階「スタールーム」

地下鉄神保町駅より徒歩3分、竹橋駅より徒歩4分、東京駅より車で5分

東京都千代田区一ツ橋2-1-1：電話03-3261-1101

【対象】弊社クライアント及び講演テーマにご関心のある方

《次第》

主催者からの挨拶

(13:00～13:05)

I. ESG投資が議論される背景

(13:05～13:45) 基調講演

社会的責任投資フォーラム会長 ハーミーズEOS上級顧問 荒井 勝 様

II. 長期投資家の投資の考え方と企業への要望

(14:00～14:30)：ニッセイアセットマネジメント株式会社 株式運用部 担当部長
コーポレート・ガバナンス・オフィサー 井口 譲二 様

(14:30～15:00)：株式会社ヴァレックス・パートナーズ 代表取締役 安 治郎 様
(ファースト・イーグル・インベストメント コンサルタント)

(15:00～15:30)：「長期投資家の投資動向分析」株式会社インバスター
代表取締役 松元 勲

(15:30～16:15)：パネル討議（荒井様、井口様、安様、松元）

III. プロアクティブなIR活動を実践する企業の活動紹介

(16:30～17:00) 三井物産株式会社 IR部長
真野 雄司 様

(17:00～17:30) 野村不動産ホールディングス株式会社 広報IR部副部長
上羽 健介 様

(17:30～18:00) 株式会社電通 エグゼクティブ・オフィス局長補兼IR部長
奥菌 雅史 様

IV. 懇親会

(18:10～20:00)

《お申し込み手続き》

【ご参加費用】

セミナーにのみご参加の方：消費税込み 8,640 円（1名）

セミナーと懇親会にご参加の方：消費税込み 10,800 円（1名）

【お申し込み方法】

- ① 別添の参加申込書に必要事項を記載の上、Email 又は FAX にて 9 月 26 日（月曜日）までに弊社宛にお送りください。
- ② お申し込み頂いた方には、郵送にて「会場案内」「参加票」「会社宛ご請求書」をお送りいたします。
- ③ 10 月末日までに、請求書に記載の口座に参加費をお振込みください。
- ④ セミナー当日は参加票とお名刺をお持ち下さい。
※領収証は通常発行を省略させていただいております。ご希望の方は、参加申込書にその旨お書き添えください。

- ◆Emailでお申し込みの場合…下記の申込欄にある項目をご記入の上、「event@investure.co.jp」宛てにお送りください。
- ◆FAXでお申し込みの場合…下記の申込欄にご記入の上、お送りください。

2016年10月4日セミナー参加申込書

株式会社インベスチャー行き FAX 番号：03-3221-5822

参加申込者

会社名		
1	部署名	
	役職名	
	お名前	
	電話番号	
	メールアドレス	
	懇親会	・参加する ・参加しない
2	部署名	
	役職名	
	お名前	
	電話番号	
	メールアドレス	
	懇親会	・参加する ・参加しない

※ 3名様以上お申し込みの場合は、余白または別紙にご記入ください。

※ 領収証をご希望の場合は、その旨お書き添えください。

メールでお申し込みの方および FAX でお申し込みの方でメールアドレスを記入していただいた方には、受付確認のメールをお送りいたします。

ご不明な点は下記担当者までお問い合わせください。

株式会社インベスチャー
 東京都千代田区九段北4丁目2番1号 市ヶ谷東急ビル11階
 セミナー受付担当 天野/栗原
 電話番号 03-3221-5821 (平日 9:00~18:00)
 メールアドレス event@investure.co.jp

◆スピーカーの方々へのご質問や、テーマに関する日頃の疑問、お知りになりたい事がございましたら、下記にご記入の上、申込書と一緒に（Emailでお申し込みの場合はメール本文にご記入いただくか、ファイル添付にて）お送りください。

どなたの講演テーマに関連した内容ですか：

『E S G投資が議論される背景』

・社会的責任投資フォーラム会長 荒井様

『長期投資家の投資の考え方と企業への要望』

・ニッセイアセットマネジメント 井口様

・ヴァレックス・パートナーズ 安様

・インベスチャー 松元

『プロアクティブなI R活動を実践する企業の活動紹介』

・三井物産 真野様

・野村不動産ホールディングス 上羽様

・電通 奥菌様

ご質問、疑問、お知りになりたい内容：